

令和2年度 奈良市の地域教育を考える懇話会の意見の概要	
開催日時	令和2年11月16日（月）10時00分から11時30分まで
開催場所	奈良市教育センター 中講座室
意見等を求める内容等	令和元年度 奈良市地域教育推進事業について 令和2年度 奈良市地域教育推進事業について 今後の奈良市地域教育推進事業について
参加者	出席者 11人 ・ 事務局 15人
開催形態	公開（傍聴人 0人）
担当課	教育部 地域教育課
意見の概要	
事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。	
《意見の概要》	
令和元年度 奈良市地域教育推進事業について	
▶ <u>事業アンケート調査報告</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答率の減少傾向は、フィードバックを行うことで解決につながるのでは。 ・校種によって文化が異なるため、フィードバックの方法を検討する必要がある。 ・地域の方の受け止め方として、事業の効果減少、課題増加の傾向が見てとれる。 ・アンケートの質問項目やフィードバックは、検討が必要なものに絞り、アンケートを戦略的に使用しては。 	
令和2年度 奈良市地域教育推進事業について	
▶ <u>評価方法の変更について</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を重視。それぞれの校区内で自ら活動を点検し、改善する方向へ。 ・プレゼンテーションは大変な労力を費やしたが、自己評価の実施により、事務等が一層煩雑にならないか懸念する。 ・優れた活動を取り上げる評価にかえては。 ・未来に向けた自己評価ができる評価項目にする必要があるのでは。学校の方針を明確にし、それを受けて地域の人たちと熟議する。土台ができている奈良市は、ステージアップする良い機会だ。 ・評価基準をもとに熟議を重ね、行動指針が明確にできればよいのでは。 ・プレゼンテーションはなくなるが、予算がある以上は、活動状況を伝えていく必要があるのでは。 	
今後の奈良市地域教育推進事業について	
▶ <u>国の方向性、市の方向性</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で決める学校予算事業の基準を変える時期にきている。10年以上前から地域と学校のつながりを重視してきたが、世の中の変化にともない、学校の方針の明確化、学校支援のための体制 	

作りが必要。

- ・学校運営協議会と地域教育協議会の違いを広く周知する必要がある。
- ・公民館では、地域住民が、地域の子どもたちに関心を持てるような仕組みづくりをしていきたい。
- ・おとなを動かす力になる子どもたちの声を、未来に向けて発信できるような形にしていきたい。
- ・ICT化が急速に進む社会において、人と人とのつながりが必須。
- ・学校と地域がつながっていくうえで、熟議が必要。若い先生と地域のつながりが少ない。管理職も地域の方と話す機会はあるが、熟議とまではいかない。管理職は、若い先生の意識を高める（授業力、生徒指導力だけでなく、地域連携）ことをすすめていくことが大切。

▶大学生との連携事業について

- ・大学生との連携事業は、もっと早く進めたい。
- ・奈良市は、国立の大学が2校あり、恵まれた環境である。大学資源を活用すべき。
- ・地域連携事業への理解を教員志望の学生に期待。
- ・地域教育協議会、学校運営協議会、自治会等の役割や違いが容易にわかるものを、準備・作成して説明する必要がある。